

財光寺小学校 第5学年キャリア教育年間計画【平成26年度】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①「学ぶことの意義」 をデザインする授業実践		【学級活動】 学ぶことについて ・学ぶ意義 ・学びの効果				【学級活動】 学ぶことについて ・自己実現		
②「将来の夢や希望」 をデザインするための授業実践		【総合】 よのなか教室① 講師 木村志保さん (塩見っ子子どもクラブ)	【総合】 よのなか教室③ 講師 伊藤康弘さん (株式会社伊藤冷熱工業専務取締役)	【総合】 よのなか教室 ・未定		【総合】 よのなか教室 ・未定	【総合】 よのなか教室 ・未定	
③「働くことの意義」 をデザインするための授業実践			【総合】 よのなか教室② 講師 島田喜恵さん (宮崎日日新聞社 日向支局記者)	【総合】 よのなか教室 ・未定	【総合】 よのなか教室 ・未定	【総合】 よのなか教室 ・未定		【総合】 よのなか教室 ・未定
④各教科等での授業 実践 (キャリア教育の視 点を踏まえた授業 実践)		【英会話科】	【国語科】 ・新聞記事を読み比べよう 【社会科】 ・わたしたちのくらしと工業生産					
⑤その他	【アンケート】 第1回 ・保護者対象 ・児童対象	【学年懇談】 キャリア教育講話 ・学級懇談会 (キャリア教育 センター長：水永 正憲氏)	【キャリア・カウ ンセリング】 ・第1クール 【講演会参加】 ・小高連携事業 (うなぎ博士：塚 本勝巳氏)		【キャリア・カウ ンセリング】 ・第2クール	【アンケート】 第2回 ・保護者対象 ・児童対象	【キャリア・カウ ンセリング】 ・第3クール	

第1回「よのなか教室」

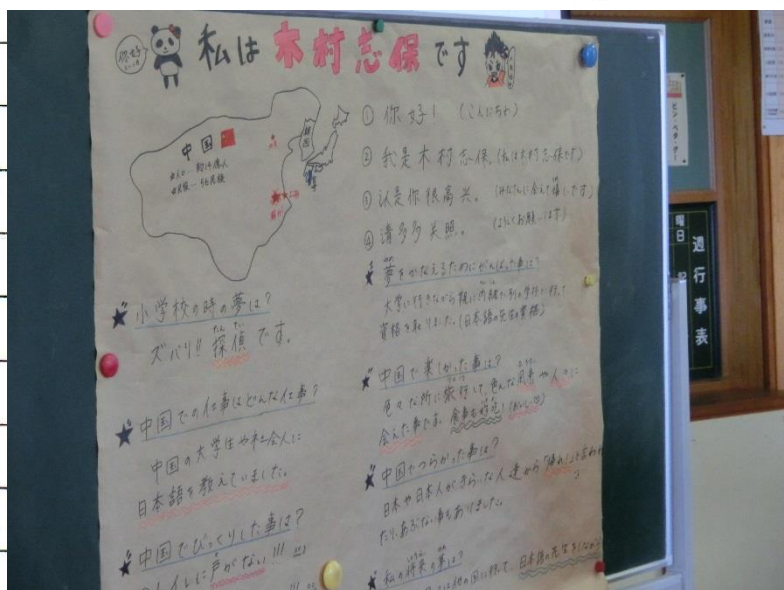
講師 木村志保さん（塩見っ子子どもクラブ）

学習の流れ

学習内容及び学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習の確認 - 本時の学習の流れ - ワークシートの確認	○ 本時の学習について、学習の流れを確認する。 その際に、プレゼン資料も準備し、児童に視覚的にも理解させる。また木村さんがお話ししてくれる内容をメモしたり、分からないことについては質問したりするように促す。
2 「将来の夢や希望」についての焦点化を図る。 ○ 授業の目的 ○ 将来についてポジティブシンキングできる話題	○ 授業の目的や木村さんのお話につながる話題について、フラッシュ型教材を準備して児童に話をする。
3 木村さんのお話 	○ 木村さんにはあらかじめ、以下の内容について話をしてもらうよう事前に打ち合わせをする。 - 自己紹介 - なぜこの仕事を選んだか。 - 自分の小学校時代の夢について（子どもたちに話し手の方を身近に感じさせるため） - 仕事をしていて一番うれしい時 - 現在の夢 - 夢を叶えるために大切だと思うこと
4 ゲストの方への質問	○ ゲストの方への質問ができるように事前に児童には質問コーナーがあることを伝えておく。 
5 終わりの会 - お礼の言葉 - 感想発表	

児童の感想（木村さんのお話を聞いて）

今日は、いろいろ話を聞かせてもらってありがとうございました。中華人民共和国の大学で日本語講師を務めている時の話の中で、とても楽しかったことやかなしかったことなどいろいろなことを聞いて、私も外国に行きたいなあと思ったりもしました。私の夢は保育園の先生なので、日本だけではなく、外国の保育園にも、行きたいと思いました。私も木村さんのように、中華人民共和国だけではなくて、ほかのいろいろな国にも行きたいと思います。それと、木村さんが中華人民共和国に行ったときに、イヤネコまでたべたり、骨などを、ゆかにおとしたり、日本では、ぜったい考えられないことがたくさんあって、びっくりしました。福岡にいたとき、友達「ちのおじいちゃんとおはあちゃんが中華人民共和国にすんでいて、友達「ちが木村さんと同じようなことを言っていました。でも友達「ちはなしていたときよりも、木村さんがはなしていたときのほうが、びっくりすることが多かったです。これから私は、外国の保育園ではたらけるように、がんばって、えいごなどを勉強していきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。



児童の感想（木村さんのお話を聞いて）

今回はお急がしい中、わたしたち5年生のために来ていただきありがとうございます。

木村さんの話を聞いて印象に残ったことがあります。それは、中国に行くことはすごいけど、親などをせっとくすることはもっとすごいと思います。もう一つあります。それは、周りから左右されない、自分の気持ちが強ければ夢はかなうということを学んだし、強く心に残りました。

疑問に思ったこともあります。それは、なぜ夢だったヨーロッパへ行けなかったんですか。答えは、また会った時に出示してください。

木村さんの話を聞いて感じたことは、どんなにむずかしい夢でも自分の気持ちがあれば、かなえられることができることです。

少しわたしの話をします。わたしの将来の夢は二つあります。一つめは学校の教師です。教師になって、わたしが子ども達の夢をかなえさせてあげたいです。二つめは、整形外科のリハビリの先生になりたいです。わたしは、骨折をしてしまったとき、リハビリの先生が「痛いね。大丈夫」といってくれたのがうれしかったからです。わたしも夢に向かってがんばりたいです。

木村さんへの素直な気持ちがあります。

わたしも、将来周りに左右されずにりっぱな大人になりたいです。

